

令和6年度第2回安城市スポーツ推進審議会 議事録要旨

日 時	令和7年2月18日（火）午後2時～3時15分
場 所	東祥アリーナ安城 3階 第4会議室
出席委員	野村富雄委員、四ツ井初美委員、柴田さわ子委員、香村直廣委員、桑田智委員、香村恵介委員、外山大輔委員、近藤亜衣委員
欠席委員	栢山美鈴委員、太田妙子委員
事務局出席者	教育長（石川）、生涯学習部長（加藤）、スポーツ課長（松元）、スポーツ課長補佐（岩井、内藤）、スポーツ振興係専門主査（近藤）
次 第	1 市民憲章唱和 2 あいさつ 3 議題 （1）第2次スポーツ振興計画改訂版に係る令和6年度事業実績について ア 個別事業の実績について イ 目標値の達成状況について （2）第2次スポーツ振興計画改訂版に係る令和7年度事業計画（案）について

1 市民憲章唱和

2 あいさつ

石川教育長

野村会長

3 議題

（1）第2次スポーツ振興計画改訂版に係る令和6年度事業実績について

【事務局説明】資料P1～46

【質疑応答】

（委員）

「ANJO みんなのスポーツフェスティバル」は良い活動ですので、続けていただきたいと思います。

（事務局）

令和7年度は6月15日を予定しています。商店街やららぽーと安城と連携ができるよう検討を進めています。

（委員）

「おはよう！ふれあいラジオ体操会」において、実施日数の減少に伴う参加者数の減少とあるが、要因はありますか。

（事務局）

台風の発生に伴う天候の影響が主な要因です。

（委員）

3点お伺いします。1点目が、以前の審議会において延べ人数ではなく実人数の把握をできないか提案をしましたが、その後の取組みについて教えてください。2点目が町内会単位で取り組んでいる団体が令和6年度は増加したのか、教えてください。3点目が取り組んでいない団体への働きかけについて教えてください。

（事務局）

1点目の実人数の把握ですが、報告書の修正には至っておりません。2点目につきましては、参加団体数は把握していますが、町内会単位での増加数については分析ができていないため、現状把握ができていません。3点目につきましては、広く参加団体を募集していますが、参加していない団体への積極的な働きかけは行っておりません。

（委員）

取り組んでない団体に働きかけは、それほど手間もかからず、取り組めば参加団体も増加すると思います。

ラジオ体操講師派遣授業は3年間で3校しか参加しておらず、特定の子供にしか届いていないと思います。そもそもこの年代に正しい動きを教える必要があるのか、疑問に感じています。この年代は様々な動きを楽しく取り組むことが大事だと思いますので、この予算を別の形で使用した方がこの年代にとっては有効と考えています。

（事務局）

特定の学校にしか届いていないため、他の小学校でも活用していただけるようPRします。また、様々な楽しい動きについては、ラジオ体操の教本配布を廃止しているため、それも含めて検討したいと思います。

（委員）

スポーツ実施率の達成状況だが、前回調査からスポーツの定義も異なっているため、調査方法が違うことを明記しないと誤った印象を与えてしまいます。

（事務局）

令和5年度から変更していますので、誤った印象を与えないよう注意書き等を加えます。

（委員）

中学校施設の空調工事は一斉に全ての中学校に工事が入ると聞いているが、より良い方法がないか、検討の余地はありますか。

（事務局）

工事については別部署が担当になるため、本日の意見を担当課に伝えます。

（委員）

夏の猛暑対策は何か考えていますか。夏の大会の時期等を変更する等、団体で対策を取る必要が出てきている状況である。

(事務局)

施設によって使用できる時間を早める等、熱中症対策を進めています。また、大会の時期をずらすことは各競技団体での検討をお願いしたいと考えています。

(委員)

例えば、施設を早朝から使用することは可能なのか。また、ナイターを利用する場合、助成金を出すといった取組みは検討していますか。

(事務局)

早朝については、音の問題もあります。対策についてはできる範囲になるが、検討します。

(委員)

夜のスポーツ教室を担当していますが、参加者は多いです。働き世代のスポーツ実施率が低いのは昼間に働いている方が多いからだと思いますので、夜に参加できる環境が増えれば良いと思います。

(事務局)

働き世代がスポーツを実施しない理由は「仕事・家事が忙しい」が一番多くありました。また、アンケートでも「夜にスポーツを実施する環境が少ない。」という意見もありますので、今後の計画策定時に検討したいと思います。

【全委員了承】

(2) 第2次スポーツ振興計画改定版に係る令和7年度事業計画(案)について

【事務局説明】資料P 47～48

【質疑応答】

(委員)

令和6年度に中学校の体育館の床工事をしたと思います。他の施設もいくつか工事したと聞きましたが、どのような背景がありますか。

(事務局)

計画に基づいて、工事を実施しています。

(委員)

部活動地域移行について、部活動は学習指導要領に記載されている限り廃止できないと伺っているが、静岡県掛川市は完全に廃止を検討しています。安城市はどのような状況ですか。

(事務局)

独自に廃止を進めている市町は、教育委員会が統括しているわけではなく、市の施策として予算等の見通しが持てているところが進んでいます。部活動の地域移行は関係各所において様々な問題があがっていることから、時間をかけて丁寧に進める必要があります。

(委員)

安城市は他市と比較して進んでいると思います。学習指導要領が足枷になっているとい

うことを聞いていたので、確認しました。安城市でも部活動の地域移行について検討していると思いますが、地域のクラブも巻き込んでいただきたい。どのように進めていくべきか、一緒に検討したいと思います。

(事務局)

知恵を貸していただければと思います。

(委員)

先日、新中学1年生への入学説明会に併せて、部活動の地域移行も説明をされていると思いますが、保護者も混乱しています。丁寧に進めていかないといけないが、急ぐ必要もあります。

(事務局)

現在、部活動という仕組みがなくなっていく過渡期にありますが、子供たちの選択の一つとして様々なスポーツに目を向けるきっかけになれば良いと考えています。部活動がなくなっていく流れにおいて、子どもたちが自然な流れで地域クラブに目が向くと良いと思っています。地域クラブに参加できないよう子どもを行政がフォローできるような体制になるよう取り組んでいます。

(委員)

熱意ある先生は限定的であり、部活動の継続は厳しいと考えています。持続可能にするには、部活動をサークル活動にしていく方が良いと思います。競技性を高めるのではなく楽しむことを主にするとともに、行政がコントロールするのではなく、自由にクラブを選択できる環境を整えることが重要だと思います。市と地域クラブとの議論の場が無いので、議論をするべきだと思います。

(事務局)

ご意見ありがとうございます。

(委員)

子どもの興味や送迎の問題等でスポーツ経験の差ができてしまうことを懸念していますが、スポーツ実施率を把握するうえでデータはありますか。

(事務局)

中高生へのアンケートを実施していますので、それで把握することができます。

(委員)

取り残される子供が出ないようにモニタリングすると良いと思います。市として平日に関する地域移行はどのような方針を考えていますか。

(事務局)

平日に関する具体的な方針は示していません。

(委員)

中学校の部活動は競技力の向上ではなく、運動を親しむ、人との関わり方を学ぶ機会に主眼を置いて検討しなければいけないと考えています。

(委員)

中学生は広く、様々なスポーツに親しむことが大切と私も考えます。

(委員)

中学校の部活動の活動時間が少なく、高校の部活動は想定した活動時間より多いので、戸惑ってやめてしまう子もいます。かつては中学で段階的に運動量を増やせていたが、活動時間が少ないので、地域移行で様々なクラブやサークルが増えると良いと思います。

小学校のマラソン大会を見学した際に、歩いている子がすごく多かった印象があります。先頭を走る子はクラブチームに入っている子で、後ろを走る子は走ることに興味のない子でした。マラソンの練習がほとんどないと聞いています。ケガにも繋がることになりますので、体を使う機会を増やしてほしいと思います。

(委員)

スポーツを始めるきっかけとして、シティマラソンや駅伝大会を挙げられています。それも重要なものだと思いますが、身近な人達とスポーツを始めるきっかけとなる取組みは考えていますか。例えば、団体を設立する際に助成をするといったスポーツを始めるきっかけとなるような事業に予算を活用することはできないかと思っています。

(事務局)

団体を設立する際への助成は財政部局とも協議をしていますが、予算が配分されていない状況です。スポーツを始めるきっかけとなるような事業も検討したいと思います。

(委員)

確認ですが、部活動の地域移行について検討する会は開いてもらえますか。

(事務局)

担当が各協会に説明をして、意見を集約しているところです。来年度は、意見を伺う機会もあると思います。

【全委員了承】

以上